

2017年12月

みちのく鉄道応援団
会 員 各 位

ご 案 内

拝啓 早いもので今年も残りわずかとなりました。会員の皆さまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、12月5日（火）から東北福祉大学 鉄道交流ステーションにおきまして第32回企画展 「全線開通 100 周年記念 陸羽東線展」が開催されます。

併せてミュージアムユニバース、記念講演のパンフレットも同封いたしますので、皆さまお誘い合わせの上ご来場くださいますようご案内申し上げます。

敬具

【問合せ先】

〒981-8523 仙台市青葉区国見 1 丁目 19-1 ステーションキャンパス館 3F
東北福祉大学・鉄道交流ステーション（鈴木様）
☎ 022-728-6612

みちのく鉄道応援団 事務局
仙台市青葉区中央 1-1-1
JR 東日本東北総合サービス(株)
仙台支店 担当：日 下
☎ 022-221-6067

記念講演会「陸羽東線C58の時代」

講師：真船直樹

(元酪農学園大学教授、現北海道大学病院医師、鉄道文化観察人)

日時：2018年1月27日(土) 13:30～

会場：東北福祉大学ステーションキャンパス S300 教室

講師プロフィール

真船直樹 (まふね なおき) 1951年生 (66歳)

1978年岩手医科大学医学部医学科卒業、医師免許証取得。1982年北海道大学大学院医学研究科修了。医学博士学位取得。1985年より米国オハイオ州立大学医学部病理学講座研究員。1992年より北海道大学医学部～同大学院助手を経て、2002年より酪農学園大学教授。2016年より北海道大学病院検査・輸血部臨床検査管理医師。

「鉄道文化観察人」としての活動

古川市(現・大崎市古川)生まれ＝陸羽東線マニア/上杉山中学校卒＝仙山線マニア/仙台一高卒＝東北・常磐線マニア/鉄道友の会会員、北海道レールフォトライブラリ代表、米国 National Railway Historical Society 会員、JR北海道レイルウェイアドバイザー/C623運行当時は運行部長。

主な著書

笠倉出版「景私記」/新人物往来社「再現 鉄道大追跡」/学研「図説蒸気機関車」

須田製版 国鉄北海道総局監修「北海道鉄道百景」/須田製版 JR北海道監修「クリスタルレールウェイ北海道」/小学館「全線全駅シリーズ」ほか

現在 JR北海道車内誌 The JR Hokkaido に「北の鉄道風景」を連載中。



○奥羽本線が土砂崩れで不通になり、昭和48年4月12日、その1日のみ陸羽東線迂回で運行されたC58牽引の夜行特急「あけぼの」と夜行急行「おが2号」が陸前古川駅で交換する場面を、臨場感溢れる文体で紹介した「終焉の奇跡 陸羽東線に迂回列車を追って」(『鉄道ファン』1973年11月)は、愛好家のあいだでは有名な記事となった。

(写真：真船直樹)

問い合わせ

〒981-8523 仙台市青葉区国見1丁目19-1ステーションキャンパス館3F
東北福祉大学・鉄道交流ステーション(鈴木)

電話：022-728-6612 E-mail：railway@tfu-mail.tfu.ac.jp

SMMA

SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE

仙台・宮城ミュージアムアライアンス

仙台のさまざまな
ミュージアムが大集合！
もっと楽しく、
もっと学べる2日間です。

ミュージアム ユニバーズ

すてき・ふしぎ・おもしろい

- トークとイベントの広場
- 体験の広場
- 展示の広場
- ミュージアムグッズショップ

2017 **12.16** [土] 10:00 ~ 17:00 **17** [日] 10:00 ~ 16:00
せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア 入場無料

PREMIUM NIGHT TALK

15日(金)
19:00~20:30は
プレミアム
ナイトトークを
開催!

【会場アクセス】

徒歩／仙台駅より約20分

地下鉄／南北線勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分。東西線大町西公園駅下車、「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分
バス／仙台市営バス 仙台駅前60番(仙台TRビル前・地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから

「定禅寺通市役所前」経由「交通局大学病院」行きで約10分、メディアテーク前下車

【主催】仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)

【お問い合わせ】仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 センダイメディアテーク内 TEL 022-713-4483



ミュージアム ユニバース

すてき・ふしぎ・おもしろい

SMMAに参加しているミュージアムが、

それぞれの「とっておき」とともにせんだいメディアテークに大集合!

ミュージアムの「すてき・ふしぎ・おもしろい」を伝える

さまざまなプログラムに参加して、「知る」ことの楽しさをぜひ体感してください。

ミュージアムのスタッフが会場でお待ちしています。

トークとイベントの広場

12月16日(土)

12:45 ミュゼバトル4〜私のイチ押しミュージアムはコレよ!

ファシリテーター:せんだいメディアテーク

13:45 学芸員 清水 有

14:00 クイズ&トーク「知ってる!? 仙台の歴史」

(地底の森ミュージアム、仙台市縄文の森広場、仙台市博物館、
仙台城見聞館、瑞鳳殿、仙台文学館、仙台市歴史民俗資料館、
仙台市戦災復興記念館)

仙台歴史
ミュージアム
ネットワーク

15:00 仙台にある鉄道遺産を訪ねてみよう

東北福祉大学・鉄道交流ステーション 運営委員 高橋敬昭

15:45 学芸員 鈴木佳子

16:00 これからの暮らしを考える〜西洋と日本の自然観から〜

東北大学総合学術博物館 助教 小川知幸、鹿納晴尚

16:45 せんだい3.11メモリアル交流館 飯川 晃

12月17日(日)

10:15 サイエンスショー「科学のふしぎ」

10:45 スリーエム仙台市科学館 社会教育指導員 吉田香苗、佐々木真鈴

11:00 大学生による

12:00 子どもワークショップ

東北学院大学博物館 学生

13:15 大学生が聞きたい!

14:15 ワークショップのあれこれ

進行:みちのく博物楽団 大沼竜也

14:30 日本画家:平山郁夫が描いた東北

15:15 東北学院大学文学部 教授 加藤幸治



体験の広場

12月16日(土) 10:00~17:00

おもしろ縄文ワークショップ

仙台市縄文の森広場

山の交番〜どうぶつたちの落とし物を届けよう〜

セルコホーム ズーパラダイス八木山

しおりをつくろう!

仙台文学館

地球史の長さを感じてみよう!

みちのく博物楽団

走る!聞こえる?おもしろ鉄道ワールド出発進行!

東北福祉大学・鉄道交流ステーション



12月17日(日) 10:00~16:00

スタンプで暦(こよみ)をデザインしよう!

社会福祉法人共生福祉会 福島美術館

ヒカリのふしぎ

スリーエム仙台市科学館

石器をつかおう!

地底の森ミュージアム

ASOBIの達人 ビヨンド

東北学院大学博物館

mini カレンダーに型紙で模様を染めよう

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館



展示の広場

ミュージアムの取り組みや、
旬な情報をお伝えします。

伊達政宗のカブトをかぶる体験や、仙台市荒浜地区の被災2年後の様子をVRで体験(中学生以上)できるコーナーもあります。



ミュージアムグッズショップ

ミュージアムのイチ押しオリジナルグッズ
を集めたセレクトショップが2日間限定で
開店します!

プレミアム ナイトトーク

PREMIUM NIGHT TALK



大人の知的好奇心をくすぐるミュージアムならではのトーク2本立て。ドリンクを片手にお楽しみください。

12月15日(金) 19:00 先着40席
20:30 1ドリンクオーダー制

出張!トワイライトサロン
天文台長 土佐誠の宇宙が身近になる話
〜クリスマスの星〜

仙台市天文台 台長 土佐 誠

会場 | クレプスキュールカフェ | せんだいメディアテーク1階

知られざる動物たちのカップル事情

仙台うみの杜水族館 学芸員 寺沢真琴、獣医師 田中悠介
セルコホーム ズーパラダイス八木山 飼育技師 高橋一斗
飼育技師 永倉頌子

SMMA(仙台・宮城ミュージアムアライアンス)は仙台・宮城地域のさまざまなミュージアムによる共同事業体で、現在16館が参加しています

SMMA
SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE
仙台・宮城ミュージアムアライアンス

【参加館】

●社会福祉法人共生福祉会 福島美術館
●仙台市縄文の森広場
●仙台市天文台
●せんだい3.11メモリアル交流館
●スリーエム仙台市科学館

●仙台市縄文の森広場
●仙台市天文台
●地底の森ミュージアム
●仙台市博物館

●セルコホーム ズーパラダイス八木山
●仙台市歴史民俗資料館
●仙台文学館
●せんだいメディアテーク

●東北学院大学博物館
●東北大学総合学術博物館
●東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
●東北福祉大学・鉄道交流ステーション

詳しくは、ウェブサイト「見聞録www.smma.jp」をご覧ください。

陸羽東線展

全線開通100周年記念
東北福祉大学・鉄道交流ステーション第32回企画展

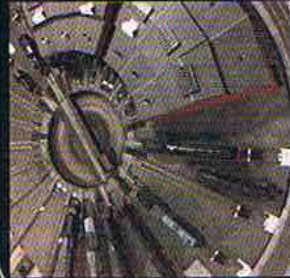
主催・会場：東北福祉大学・鉄道交流ステーション
後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社
東北鉄道協会、(社)交通環境整備ネットワーク
みちのく鉄道応援団
協力：東日本旅客鉄道(株)仙台支社、大崎市教育委員会

2017年12月5日(火)～

2018年3月3日(土)

午前10:00～午後4:00

休館日：毎週日・月曜日、および、祝日



鉄道模型館

(TFUスカイトレイン)

展示室開館日の各土曜日

午前11:00～午後4:00

12/9・16、1/20・27、

2/10・17・24、3/3

入場無料



全線開通100周年記念

陸羽東線展

2017年12月5日(火)～2018年3月3日(土)
午前10:00～午後4:00 休館日:毎週日・月曜日・および、祝日

臨時休館 年末年始期間の12月23日(土)～1月8日(月)、大学入試センター試験日1月13日(土)、
一般入学試験2月2日(金)・3日(土)、2月20日(火)

* 悪天候や大学行事等で臨時に休館する場合があります。詳しくはHP等でお知らせします。

後援:宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社、東北鉄道協会、
(社)交通環境整備ネットワーク、みちのく鉄道応援団

協力:東日本旅客鉄道(株)仙台支社、大崎市教育委員会

入場無料



宮城県の小牛田駅と山形県の新庄駅を結ぶ陸羽東線は、1917(大正6)年11月に全線が開通し今年で100周年を迎えます。

沿線は鳴子峡など豊かな温泉や名勝に恵まれ、昭和中期より都市圏から「週末列車」が走る観光の足として利用されてきました。近年では「湯けむり」を冠したSL牽引の臨時列車などが話題をあつめ、また、臨時快速「リゾートみのり」が走るなど、鉄道ファンや市民に親しまれてきました。さらに鉄道輸送の全盛期には、太平洋側の幹線と日本海側の幹線を結ぶフィーター線として、災害時の臨時運行や、山形新幹線工事中の迂回路としても重要な役割を担ってきました。

陸羽東線は、古川駅で東北新幹線に接続し、観光の面ではいろいろなる可能性を秘めているといわれていますが、一方、今も単線で電化されておらず、過疎化の中で厳しい運営を余儀なくされているのも事実です。今回は陸羽東線の歴史をたどりながらその変遷や沿線の様子を紹介し、路線の魅力を探ります。



写真: C58牽引下り貨物 鳴子-中山平 1972年 柏木啓一



写真: キハ17系 鳴子-中山平 1967年 平田誠

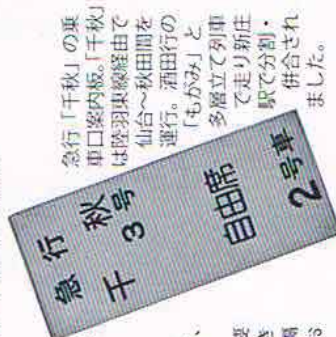
主催・会場 東北福祉大学・鉄道交流ステーション

〒981-8523 仙台市青葉区国見1丁目19-1 ステーションキャンパス3F
電話: 022-728-6612

<http://www.tfu.ac.jp/rmlc/index.html>

【アクセス】JR 仙山線「東北福祉大前」駅下車(仙台駅から所要時間約13分、片道大人200円、小児100円)徒歩すぐ

【市営バス】JR 仙台駅前(西口バスプール15番のりば)から「JR 東北福祉大前駅」下車(所要時間約25分、片道大人260円、小児130円)徒歩すぐ。国見ヶ丘三丁目福祉大野球場前行き(870系統)、市営バス実況営業所前行き(X870系統ほか)乗車。10分から20分後の運行間隔があります。※9番出発の「東北福祉大前行」に乗車しますと、国見キャンパスへ行きますので、お間違えないようお願いください。※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



鉄道模型館 (TFU スカイトレイン)

全線350mのレイアウトがいよいよ完成!
ラック式レールの登山線、日本最長のスイッチバック線など、さまざまなしくみの路線をお楽しみください。

展示室開館日の各土曜日 12/9・16、1/20・27
11:00～16:00 2/10・17・24、3/3

